

複合市民施設に関する調査特別委員会記録

令和6年11月29日（金）午後1時30分～午後1時56分（9階908会議室）

○出席委員（10名）

委員長	小松 良行	副委員長	佐原 真紀
委員	浦野洋太郎	委員	佐藤 勢
委員	根本 雅昭	委員	後藤 善次
委員	沢井 和宏	委員	川又 康彦
委員	村山 国子	委員	真田 広志

○欠席委員（1名）

委員	二階堂利枝
----	-------

○市長等部局出席者（なし）

○案 件

- 1 現地調査に対する意見開陳について
- 2 委員長報告について
- 3 その他

午後1時30分 開 議

（小松良行委員長）ただいまから複合市民施設に関する調査特別委員会を開催します。

本日、二階堂利枝委員より1日間の欠席届がありました。また、佐原真紀委員より遅れる旨の連絡を頂戴していることを申し上げます。

初めに、現地調査に関する意見開陳についてを議題といたします。

前回委員会で実施した現地調査について、委員の皆様からご意見を頂戴したいと思います。ご発言のある方はお述べいただければと思います。

（村山国子委員）もう既に出来上がっているので、言っても変わるものではないかななんて思うのですが。

（小松良行委員長）思いながらもどうぞ。

（村山国子委員）傍聴席がやけに近いなど。

あと、傍聴席に防音機能がついている親子席みたいなのがやっぱり必要だったのかなと。傍聴席に

ガラス張りというか、見えるような親子席みたいなのが必要だったのかなというふうに思ったのと、傍聴席ではないのですけれども、1階の天井が黒く染めた配管がむき出しだったのにちょっとびっくりしました。

あと、1階の柱とかがコンクリートが打ちっ放しで、子供たちとか走ったりして頭とかぶつけないかなとか、けがしないかななんていうふうに思いました。

大きなところはそんなところですよ。

(川又康彦委員) 議場については、村山委員もおっしゃったとおり、傍聴席との距離感というのは気になった。

今回採決の部分でボタンにより表示される部分が個人名とモニターに表示される部分もあるということで、その辺についてもちょっと注目したのですけれども、モニターのほうが、傍聴席側からもそうですけれども、距離が結構あると、文字までは多分読めないなというのが、予想以上に難しそうだなというのは感じました。

あわせて、大型のスクリーンということで、そこもあればと思ったのですが、プロジェクターということで、明るいほとんど見えないなというのは改めて感じましたので、何か対応は考えなければならないのではないかなとそこについては感じました。

1階と2階については、非常に明るい構造もあり、市民の方にも大いに活用してもらえるような設備になるのではないかなと、ここについては非常に期待できるなと感じました。

(根本雅昭委員) 今川又委員が話したとおりだとは思いましたが、イメージどおりだったところ、そうではなかったところ様々ございましたけれども、やはり気になったのはモニターとか、時計とか、そういった何か情報を伝えるための表示の見やすさ、時計なんかは、色合いの関係もあるのでしょうけれども、ちょっと時間がなかなか読みにくいなど、遠くから、近くからでもなかなか読みにくいなというふうに感じましたので、ユニバーサルデザインなどももう一度、後からでも直せる部分たくさんあると思いますので、再度ユニバーサルデザインという観点も、運用してからでも構わないとは思いますが、そういうところも今後注視していくべきかなというふうに感じました。

(沢井和宏委員) 関連して、やはりモニターが小さいなということで、そうすると結局は切替えを割かしゆっくりめにしていかないと、次から次と切り替えるような、そういう操作はなおさら見づらくなるのかなということで、あれ以上大きな画面にできないのであれば、表示の切替えの時間をある程度じっくり見られる、特に採決の部分なんかはぱっぱと、2通り提示するような案だったと思うのですけれども、それでは確認する前にぱっと消えてしまうような感じがするので、表示の時間の在り方についてもちょっと検討しなくてはならないのかなと思いました。

以上です。

(村山国子委員) やっぱりモニターが小さ過ぎて傍聴者にとっては不親切かな。大きくする検討をしてもらえばいいかなというふうに思います。

(小松良行委員長) ほかにございますか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(小松良行委員長) 大体まとめますと、やはりイメージと違った点として、議場については傍聴席と議員席の距離がかなり近いという印象で、それに関連して傍聴者と議場側に、臨場感は、声はある程度伝わったほうがいいのかもしれませんが。ただ、防音とかそうしたことも懸念されるのではないかとといった点であったり、あるいはモニターについて非常に小さくて見にくいと、大型スクリーンについても角度だったり、見やすさにもうちょっと配慮の必要もあるのではないかとした点、それに関連してでありますけれども、沢井委員のほうからは表示の仕方等で少しでも見やすくする工夫、これは表示の切替えをゆっくりするなどといったご指摘でありました。1階、2階などの使いやすさ等は非常によいものになるであろうと、市民センター側ですけれども。ただ、これは根本委員のほうからユニバーサルデザインを今後さらに意識をして、今後更新の際にはさらに検討が進められればよいといったようなご意見もいただいたところでありますが、当局に確認を要するような事項というのは特にはないように思いますけれども、今後機会を見ながらこうしたご意見があった旨についてはお伝えしておきたいと思います。回答をいただくようなもののご質問はないかというふうに思いますが、あとは今後運用の中で、いざやってみれば様々な状況がまた生じないとも限りませんし、そこにおいては議運なり、代表者会の中でよりよい使い方、使い方というわけではないですね。使い方についてはいろいろと話し合われていくこともあるかと思われますので、取りあえず今日のところの意見開陳については以上としたいと思います。ありがとうございました。

次に、委員長報告についてを議題といたします。

前回皆さんからいただいたご意見を踏まえ、正副委員長手元で委員長報告の修正案を作成いたしましたので、タブレットのデータをお開きいただければと思います。令和6年11月29日委員長報告案です。まず、変更点についてご説明申し上げます。まず、1点目、1ページなのですが、19行目から20行目にかけてでありますけれども、前回実施した現地調査に関する一文を追加いたしました。というのは、過日現地調査を実施して、これまで当局の説明により示された平面図やイメージパースなどと相違がないことを確認しましたと。ここに一言を追記させていただきたいとまず思いました。

次に、2点目であります。3ページをお開きください。まず、12行目、この点に関しましては、根本委員から前回ありましたご意見によりまして、求められておりますと、このように文言を修正いたしました。

最後の3点目であります。同じく3ページの20行目でございます。引渡日等についてでございますけれども、委員の皆様は素案をお示しした時期では、今頃はもう引渡時期が判明すると予定を当局から確認していたところでありましたが、改めてお尋ね、確認をした結果、本体建築や電気、空調等の設備関係の引渡日がそれぞれ異なることでありました。ということから、紛らわしい表現を避けるために、当局との調整の結果、11月28日には建物が完成しましたというふうな文言に訂正をさせてい

ただきたいと考えました。

以上が主な変更点であります。これらを踏まえた今回の案について、またさらに皆さんのほうから何かありますれば、修正を加え、成案化してまいりたいというふうに思っておりますので、ご意見をいただければと思います。

以上、変更点について申し上げます。ご意見のある方はお述べいただきたいと思います。

(村山国子委員) イメージパースなどと相違がないというのがちょっと離れているかなと。

(小松良行委員長) 要するに1ページの19行ですか、平面図やイメージパースなどと。

(村山国子委員) 実施しましただけでいいのかな。

(小松良行委員長) もう一度お願いします。

(村山国子委員) 実施しました。

(小松良行委員長) どういう表現にしようか。確かにそれぞれに思いもあろうかというふうに思いますが、私どもは様々なご意見申し上げてまいりましたが、その計画図面を基にきちんと造られているかといったところのチェック機能というまでもないのですが、今回は我々が平面図やイメージパースなどを見るにつけ、今回の完成間近の現場においてそれが平面図やイメージパースどおりだったかというふうなところでは、容易に我々も想像できなかった点、むしろ想定、想像が及ばなかった点というのは多々自分の中でも、私の中でもございまして、何ともこの辺の表現の仕方はそれぞれかなというふうには思うのであります。

(村山国子委員) 平面図と相違がないことをって、ここ飛ばすといいのではないですか。

(小松良行委員長) イメージパースは抜きますか。

(村山国子委員) イメージはそれぞれ違うので。

(小松良行委員長) おっしゃられるとおり、私も日の丸や市旗が当然既に掲揚されているものというふうに思っていたんですが、どうやら口を濁している担当者の姿を見ますと、どこかの時点で取っ払ってしまったのかなとかというちょっとクエスチョンも残りましたので、多くの皆さんのご意見がイメージパースなどというふうなところの部分にちょっとクエスチョン、引っかかるといった点があるとすれば、ここを削除するというふうなことも一案かなというふうには思いますが、皆さん、いかがでしょうか。このように考えますが。

イメージパースというものと現実とは、多少それは、例えば小さなこういうタブレットの中で見るものと、また色だったり、また見え方だったり、現地に行ってやっぱりちょっと違って見えるということはあって、ある程度致し方のない部分なのかなという気もしないでもないわけでありまして、大幅なイメージパースと変更が随所に見られるといった場合には、やはりその点ではどうなのといった、先ほど来の当局に対する今後確認事項として現地調査の意見開陳の中であればお尋ねをして、また皆さんにご報告申し上げたいとも思っておりますけれども。先ほど村山委員のほうからはその一文について修正を求めるご意見もありましたけれども、皆さんのほうからいかがですか。

(後藤善次委員) 一つの表現、言葉で、例えば平面図とイメージパースを一緒にしてしまって、設計概要とかそういうもの、設計概要には中見ていくとイメージパースも入っているのですけれども、内観も外観も入っていますので、そんな表現方法にしてはいかがかなと。

(小松良行委員長) ただいま後藤委員からは、平面図やイメージパースというふうな言葉ではなくて、設計概要に相違がないことを確認しましたというふうにすればよいのではないかといったご意見でございましたが、いかがでしょうか。

(村山国子委員) イメージパースの部分で、例えば1階とか、例えば大ホールでしたっけか、ああいうのというのは詳しくはなかったような気がするのです。議場とかの、そっちだったのです。だから、議場に関して言えばまあまあ問題はないかなと思いますけれども、これがこの調査に関しては大体としては議場のほうのということですね。そうすると差異はないかと。

(小松良行委員長) でなのですが、文言についてはどうでしょう。ただいまは平面図、平面図はいいのですけれども、イメージパースといった文字を抜いたらどうだといった村山委員の意見だったのですが。後藤委員からはこれらを総称する形で設計概要という言葉を用いたらいかがかというところだったのですが、どちらかで統一していきたいと思うのですけれども、どうでしょう。後藤委員のおっしゃられるように、それぞれにイメージパースといった点とか、あるいはイメージパースも専ら我々議場、それから議会フロアの部分がメインで、その他の部分については1階フロアや、あとは大会議室など一部イメージパースとしてご覧になっているところもあろうかと思います。細部については当然うかがい知るところではなかったわけで。正副案か、または様々なご意見の中でイメージパースに関わる部分でそれを了とできないという場合に、このイメージパースという言葉は抜くか、また後藤委員からのご提案であります設計概要というふうな言葉に置き換えたらいかがかというふうなご意見、3つあるわけでございますけれども。

(後藤善次委員) 私が申し上げたのは、パースを抜いて平面図だけ残すという話になるのであれば、設計概要というほうが全体的に網羅できるのかなと思って提案させていただいたので、元に戻ってそれにこの名称に変更してくれという意味ではありません。

(小松良行委員長) 分かりました。

(村山国子委員) 私全体としてこういうふうに言ったのですけれども、私たちの調査の目的というのが議場のほうだったので、に考えればこれで問題がないかなと先ほど言いました。

(小松良行委員長) では、村山委員のほうから修正案、正副案であります、いろいろとご指摘いただきながらも、ただいまのご発言のとおり、正副案でよろしいのではないかとといったご意見もいただきましたので、後藤委員、ではそのようによろしければ正副案のようにさせていただければというふうに思いますが、よろしゅうございますか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(小松良行委員長) ありがとうございます。では、そのようにさせていただきます。

この黄色で修正しました部分や3ページで修正した部分等々、これを委員長報告案といたしまして、閉会後でありますけれども、会派確認用としてタブレットへの配信をいたしますので、各会派ではこの内容で調整をお願いいたしたいと思います。なお、配付が完了した際には事務局よりメールでお知らせするようにいたしますので、配付しましたという確認をして、あと各会派のほうでこの内容についての確認をお願いいたしたいと存じます。

そういたしまして、次回の委員会においては会派内の調整結果を各会派よりご報告いただくこととしますので、よろしゅうございますでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(小松良行委員長) では、そのようにさせていただきます。

それでは、ただいまの委員長報告案につきまして各会派の調整をお願いいたします。

そういたしまして、次回の委員会において各会派の調整結果を会派ごとにご報告いただくことでよろしゅうございますか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(小松良行委員長) では、そのようにさせていただきます。

正副から以上でありますけれども、資料がちょっと、先ほど申し上げればよかったのですが、最後のGG、市民センター利用予約についてというのもありますので、後ほど、説明はいたしません、ご覧になっていただければというふうに思います。

正副委員長からは以上ですが、皆様から何かございますでしょうか。

(沢井和宏委員) この12月だよりのオープンの市民センターの利用予約は市民センターでいいでしょうけれども、いろんなところちょっと気になるのです。呼び名がいろいろあって、まず上のところは複合棟(市民センター)となっていて、市民センター中心のお知らせだから、いいかと思うのですが、けれども、複合棟がそのまま市民センターになっているような感じがします。あと、片方は福島市役所庁舎棟となっていて、複合棟の前には何もつかないのかなというののもう一つ。

(小松良行委員長) 沢井委員、大変申し訳ございません。これ議題としておりませんで、一応参考資料として配付にとどめるとしておりましたが、一旦議事を終了してからちょっと書記のほうに確認をさせたいと思いますので、一旦区切りをつけたいと思います。

特にそのほかございませんでしたら、以上で。

(川又康彦委員) さきの議会運営委員会で議案の訂正が報告されました。当委員会で付託を受け、決定された議案第86号について、文言が間違っただけで条例が制定され、先日議会運営委員会の中での報告がありましたが、これについて、私たちが審査した内容でもあり、何らかの対応が委員会としても必要ではないかと思っております。ただ、事務局等にも確認したところ、説明自体が間違っただけで訂正をしたことは間違いはないのですが、もう議案も成立しているということで、委員会での文言修正とか発言の訂正とかも行うことはできないというふうに聞いております。ただ、非常に大きい案件というか、

基本的にはあってはならないことでもあり、間違った説明により、私たちが間違ったそのままの説明のままに賛同したということになりますので、できれば委員長の差配により、担当部局のほうに何らかの話をしていただくなりということを希望いたします。特に財務に来てもらってどうこうということまでは希望しませんけれども、委員長のご差配を希望いたします。

(小松良行委員長) さきの議運で議案第86号、さきの6月議会でしたか、の議案であったかというふうに思いますが、会派のほうで私も説明を聞き、ちょっとがっかりいたしたところでもありますけれども、それらについても今後の委員会の中で当局からの説明を求めるなり等々、確認が必要であれば皆様にその旨どのような取扱いといたすか、今後の進め方についても大きな課題となりましょうことから、検討をさせていただければと思いますので、よろしく願いをいたします。

では、以上で調査特別委員会を閉会いたします。

午後1時56分 散 会

複合市民施設に関する調査特別委員長 小 松 良 行